



姫路城  
世界遺産登録  
30周年記念

姫路城世界遺産登録三〇周年記念特別展

# 酒井家姫路藩の文化

Culture of Sakai's Himeji clan

2023.9/14[木] ▶ 29[金]

開場時間＝10:00～17:00（入場は16:30まで）

休館日＝9/19[火]・9/25[月]

会場＝姫路文学館北館2階特別展示室

主催＝姫路市立城郭研究室・三星会

入場料＝一般:200円（中学生以下は無料）





# 武士たちの築いた文化とその様相

姫路城を藩庁とした姫路藩は軍事上、姫路が重要な地であったことから江戸中期までの藩主家は幼年の当主が出ると転封となり、一つの藩主家が安定して長期に涉り治めることはありませんでした。しかし、寛延二年（一七四九）に入封した酒井家は幸いにも幼年の当主が出ることも無く、明治四年（一八七二）の廃藩までの百二十二年間、最も長い期間を統治することになります。姫路地域の文化はこの時代に生まれたものも多く、史資料からは酒井家や同家に仕えた人々が重要な役割を果たしていたことが確認できます。ですが、こうした文化に関する紹介は茶道などの方面で知られた酒井宗雅、画人の酒井抱一・鈴木其一師弟の様な人物を除くと決して機会に恵まれているとは言えません。

本展では酒井家姫路藩成立以後の歴史を追いつつ、時に古文書なども交えながら書画金工を中心として展覧し、彼らが築いてきた文化を紐解いてゆきます。



下田桂屋  
《雪溪歸漁図》  
嘉永6年（1853）、個人蔵



鈴木其一画・河合寸翁賛  
《寸翁主壽像》  
天保6～8年（1835～1839）、姫路市立城郭研究室



筒井素彦画・頼山陽賛  
《礼林図》  
江戸後期、個人蔵



明珍宗之《葦雁図罽》  
近世後期～近代、個人蔵



《包布 鼠縮緬地姫路剣鉾草紋松葉箒熊手松枝文様（高砂染）》  
江戸後末期、個人蔵



《姫路白鷺城大手》明治8,9年（1875,76）頃撮影、個人蔵



《染付鷹雛文茶碗破片》近世後期、  
姫路市立埋蔵文化財センター



伊勢城美守《刀 銘 元治二年丑二月吉辰 播州姫路臣伊勢城美守造》元治2年（1865）、個人蔵



狩野永秀《鉄砲洲警衛絵巻》（部分）、嘉永7年（1854）、姫路市立城郭研究室酒井家資料

## 関連イベント

令和5年度三星会総会特別講演

「酒井忠清」

講師 福田千鶴（九州大学基幹教育院教授）  
日時 2023年8月26日（土）14:00～  
場所 日本城郭研究センター2階大会議室  
備考 資料代300円、当日受付、一般参加可能

展示解説

日時 2023年9月16日（土）、18日（月・祝）、23日（土・祝）  
いずれも14:00から1時間程度  
場所 姫路文学館北館2階特別展示室

表面作品 酒井宗雅《柳馬図》、江戸中後期、個人蔵

特別版 お城EXPO in 姫路

日時 2023年9月16日（土）～18日（月・祝）、16・17日は9:00～17:00、18日は9:00～16:30  
場所 アクリエ姫路（姫路市神屋町143-2）  
備考 入場券大人1700円、小中学生800円



姫路市立  
城郭研究室

〒670-0012  
兵庫県姫路市本町68-258  
TEL 079-289-4890  
kyo-joyokaku@city.himeji.hyogo.jp



〒670-0871  
兵庫県姫路市伊伝居馬場先新町53  
TEL 080-6884-8098  
sanseikail@yahoo.co.jp